

大台ヶ原におけるガイドのあり方

1. 大台ヶ原におけるガイド制度の目標

大台ヶ原自然再生推進計画においては、利用の「量」の適正化と「質」の改善を通じ、利用による自然環境への影響を極力抑えるとともに、質の高い自然体験・環境学習を可能とすることにより、大台ヶ原を「新しいワイズユースの山」とすることを目標としている。

そのうえで、大台ヶ原におけるガイド制度の目標を次のとおり設定する。

利用者に十分な情報提供と啓発を行うことができるガイド推奨の仕組みを確立するとともに、ガイドの育成・資質向上等を図ることにより、質の高い自然体験・環境学習の機会を提供することを目標とする。

当面、西大台利用調整地区におけるガイド推奨の仕組みを確立することを目標とする。

参考：吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画におけるガイドに関連する記述

6. 自然ふれあいプログラムの提供等に関する事項

6-1 自然ふれあいプログラムの作成等

西大台を案内するガイド等に向けた情報や研修の機会等を提供する。
さらにより深い自然体験のために、大台ヶ原の自然を熟知したガイドによる自然ふれあいプログラムとして推奨すべき興味地点、コース等をまとめ、ガイド付き限定で利用することも将来に向けた課題として検討する。

6-2 ガイド付き立入りの推奨、ガイド人材の育成

利用マナーを徹底し、利用の安全を確保するとともに、利用者により質の高い体験を提供するためには、大台ヶ原の自然を熟知したガイドの同行が効果的であることから、大台ヶ原の自然等を熟知した者の随行を推奨する。

ただし、現状では、大台ヶ原におけるガイド制度が未整備であることから、ガイド推奨のための仕組みの整備と人材育成を促進すべく関係機関間において協議していく。

出典：吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画

2. 大台ヶ原におけるガイド制度の基本的考え方

大台ヶ原において質の高い自然体験・環境学習の機会を提供するため、ガイド制度の基本的考え方を次のとおり設定する。

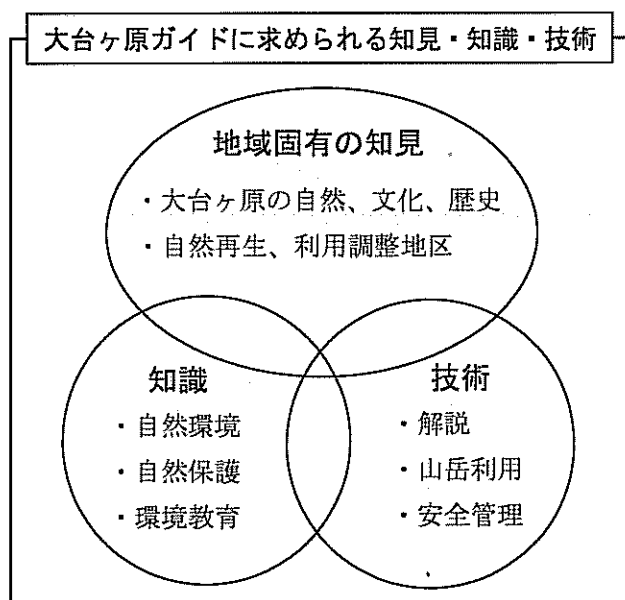
- ①大台ヶ原自然再生推進計画の実現に寄与すること
- ②利用者に十分な情報提供・啓発ができること
- ③多様な利用者のニーズに応えるよう、ガイドの育成・資質向上を図ること
- ④大台ヶ原ガイドの登録等の基準を明確化すること
- ⑤地域の自然環境が保全されるとともに、地域が活性化することにより、持続的な利用を図ること
- ⑥西大台利用調整地区における適正な利用の推進に寄与すること

3. 大台ヶ原における「ガイド」の位置づけ

現在、各地でガイドによる活動が行われているが、ガイドに求められる知識や技術は、対象とするフィールドや利用者のニーズによって様々である。

山岳地の国立公園である大台ヶ原で活動するガイドは、次の知識や技術を保有するものとする。

- ①自然環境及び安全管理等に関する知識・技術を有するもの
- ②大台ヶ原固有の自然、文化及び歴史に関する知識を有するもの
- ③大台ヶ原における自然再生の取り組みに関する知識を有するもの
- ④保有する知識をわかりやすく利用者に伝え、自然を保護する心を育てることができるもの
- ⑤利用者の安全性を確保することができるもの



4. 大台ヶ原におけるガイド等に関する現状

(1) 大台ヶ原におけるガイドツアーの実施状況（参考資料4）

- ・ 山上駐車場でのツアーバス調査、インターネットによる団体ツアー調査結果などから、大台ヶ原へは大阪、奈良、三重等の近畿圏から、中型バスなどを用いた日帰りツアーが多い。
- ・ ガイド同行を明示しているツアーもあるが全体に占める割合は低い。
- ・ 若干ながら宿泊型のツアーも見受けられ、温泉等地域の関連施設と連携したプラン、百名山である大台ヶ原と大峰山とを組み合わせさせたプランなどが企画・実施されている。

(2) アンケート調査結果からみる大台ヶ原におけるガイド需要（参考資料5）

大台ヶ原において実施した利用実態調査アンケート結果から、大台ヶ原におけるガイドへの関心は高いといえる。

- ・ 利用の質の向上策として「ガイドツアー等の充実」が求められている。(H15)
- ・ 大台ヶ原で参加してみたいプログラムとして「ガイド付き自然観察会」が最も多くあげられた。(H16)
- ・ ガイド研修会参加者の感想から「ガイド経験者のアドバイスが役立った」「ガイドの重要性を認識した」などの意見があった。(H17)
- ・ 西大台でのアンケートでは、「自然について基本的な解説」「より専門的な解説」をしてくれるガイドを希望する割合が67%だった。(H18)

※（ ）は調査年度を示す

(3) 大台ヶ原周辺におけるガイド等をめぐる近年の動向（参考資料6）

上北山村による自然体験イベント、川上村における山の学校「達っちゃんクラブ」の自然観察会などが開催されている。また近年では、上北山村住民による「山岳ガイドクラブ 北山いこら」が発足するなど、地域におけるガイド等の活動が進められている。